

## 第2学年 国語科 学習指導案

学校名 東大阪市立 盾津中学校  
授業者 鈴木 彩子

1. 日 時 令和7年12月10日(水) 第5限 13:20~14:10

2. 場 所 2年1組 教室

3. 学年・組 2年1組 42名

4. 単元名 話し言葉と書き言葉 (使用図書:国語2 光村図書)

### 5. 単元の目標

- 話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。[知識及び技能]
- 状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。[思考力、判断力、表現力等]
- 言葉が持つ価値を認識するとともに、自身の思いや考えを伝えようとしている。[学びに向かう力、人間性等]

### 6. 教材観

本単元は、「読む(小説)」の学習では多彩な表現から人物の心情やその人物像を読み取り、多様な表現に触れ、自分の経験と重ねて理解を深めていく。「走れメロス」は、文学的表現に優れており、詳細な心理描写で人間の内面を描いている。それを読み取ることで登場人物の理解につながり、読み手におもしろさと呼び起こす。また、豊かな言語表現やリズムカルな文体から文学の醍醐味を味わうことができる作品である。「書く」の学習では、そのような作品の表現の工夫を参考にしながら自身の言葉で文章や物語を書く。「文法」の学習では、付属語が教材になっており、日々の表現に目を向けることにつながりやすい。言葉を通して自らを見つめ、表現することで国語の力をより確かなものにするに繋がる本単元は、第2学年における最後のまとめりとして第3学年に向けて言語感覚を向上させ、自己の思いや考えを広げたり深めたりすることができる大変意義深い単元である。

本教材では、話し言葉と書き言葉の目的と役割の違いを理解し、それぞれ適切な場面での使い分けができるようになることを目標としている。近年、コミュニケーション手段の多様化にともない、SNSやメッセージアプリなどでは文字による伝達でありながら、話し言葉に近い文体が使われている。生徒らの多くはそういったものに生活の中で触れており、話し言葉と書き言葉の違いを意識して使い分ける機会は減っている。書き言葉での表現が期待される場面でも、話し言葉を使ってしまいがちな生徒も多いため、状況に応じて言葉遣いを使い分け、違いを理解し、適切な場面を使い分けることへの必要性は高い。伝える内容は同じであっても、表現の違いによって伝わり方が異なることに実感を持てるような学習活動を通して、話し言葉と書き言葉の特徴を理解させたい。

### 7. 指導観

生徒はこれまでに、小学校第5・6学年において、話し言葉と書き言葉との違いや、文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分け、送り仮名や仮名遣いに注意して、正しく書くことについて学習している。

本単元は、日常の言語生活と深く関わりがあるため、日常生活の場面を具体的に想定させ、その事例に着目しながらそれぞれの特徴をつかめるように学習を進めていきたい。話し言葉で書かれた手紙を書き言葉に置換することで、伝える内容は同じであっても、表現の違いによって伝わり方が異なることに実感を持てると考えている。

指導にあたって、導入時は前時の振り返りとして書き言葉と話し言葉の特徴を確認し、さらにiPadの音声入力を使用して、同じ内容の文章を話し言葉で読み上げた際にどう違うのかを視覚化し、生徒に興味や関心を持たせるように工夫する。手紙を作成する際には、敬語の授業での振り返りも行い、今までの学習も活用できることを意識させたい。また、自身の意見を条件に合わせて文章にすることを苦手になっている生徒も多いことから、思考ツールを活用することで、思考を整理する手段を獲得させたい。

### 8. 単元と特につながりのある“中学校区におけるつきたい力”

つきたい力	自分を受け入れ行動する力	他者を理解しつながる力	なかまと課題を見つける力
学習活動		相手が話していることについて関心を持ち、反応や理解を示しながら聞いている。自身の課題と比較しながら聞いている。	手紙の中の話し言葉を見つけ、適切な表現に変える。その理由を話し合う。

## 9. 単元の評価規準

- 話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。[知識・技能]
- 状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。[思考・判断・表現]
- 実際のコミュニケーションの場面で活用し、自分の思いや考えを表現しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

## 10. 単元の指導と評価の計画（全3時間）

時	学習内容	主な評価規準 [観点]
第1時	話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。	話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。[知識・技能]
第2時 本時	話し言葉で書かれた手紙を書き言葉に直して書く。	状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。[思考・判断・表現]
第3時	実際のコミュニケーションで活用する。	実際のコミュニケーションの場面で活用し、自分の考えを表現しようとしている。[主体的に学習に取り組む態度]

## 11. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ◎ 話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、状況に応じた言葉遣いで文章にすることができる。

### (2) 本時の評価規準

- ◎ 状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。[思考・判断・表現]

## 評価基準

評価A（十分満足できる）	評価B（満足できる）	評価Bに達していない子どもへの支援
話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。	作成しているワークシートやヒントカードを提示する。

## 子どもに示す評価基準

A	B	C
話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、状況に応じた言葉遣いで文章が書けている。	話し言葉と書き言葉の特徴をふまえた文章が書けている。	話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、文章にしようとしている。

### (3) 本時の学習過程

個：1人で P：ペアで G：グループで C：クラスで

時間	○学習内容・学習活動	形態	予想される子どもの反応	●指導上の留意点 ◎評価規準（評価方法）
10分 導入	○ 書き言葉で書かれた文章を見ながら話し言葉の教員の説明を聞き比べる。	C	・ 同じ内容でも印象が違う。 ・ 話し言葉のほうが軽く聞こえる。など	● 話し言葉と書き言葉の違いに実感を持たせるために iPad の音声入力を用いて視覚化する。 ● 教科書の内容と、プリントに記録した内容をしっかりと振り返らせ、思い出させる。
	○ 前時に学習した話し言葉と書き言葉の特徴を振り返る。	C		
めあて メモをもとに、手紙を書こう。				

35分 展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し言葉で書かれた短い文章を書き言葉に直して書く。</li> <li>○ 話し言葉で書かれた「たいすけくんのメモ」をもとに、校長先生への手紙を書く。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>活用してほしい知識・技能・キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し言葉と書き言葉の特徴</li> <li>・ 敬語</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 班で交流し、自身と文章と他者とを比較する。班長は完成した文章をロイロノートで提出する。</li> <li>○ 班の意見を全体で共有する。</li> <li>○ 班長が班活動シートを記入する。(班活動が円滑に進んだかを◎○△×の中から選択し、活動を振り返る。)</li> </ul>	個  個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ なかなか1人では考えにくいな。</li> <li>・ 誰かの意見を聞きたいな。など</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ こんな言葉に変えることができるのか。など</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言葉は少しずつ違うけど、どこの班も書き言葉のほうが整理されているな。</li> <li>・ もとのメモと印象がちがうな。など</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今日は皆でしっかり意見を言い合えた。</li> <li>・ あまり発言できていない人がいた。など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時までのワークシートを確認し、適切な情報を選択するように促す。</li> <li>● くらげチャートをロイロノートで配布し、メモの情報を整理させる。</li> <li>● ヒントカードを提示する</li> <li>◎ 状況に応じた言葉づかいで文章を書くなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(思考・判断・表現)(ワークシートの記述)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 他の人の文章を見て、自身の文章に生かすよう促す。</li> <li>● 班で相談して文章にまとめてよいことを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ほかの班の文章を見て、自身の文章と比較するように促す。</li> <li>● ただ班員の答えを写させてもらうのではなく、班でひとつの答えにたどり着けるように促す。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 班長に班活動シートを配布し、活動を評価させる。</li> </ul>
5分 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ プリントに記入したためあての振り返りを行う。</li> </ul>	個	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メモをもとにしっかりと文章にすることができた。</li> <li>・ 班の人に手伝ってもらったけど、文章にすることができた。など</li> </ul>	